

小・中学生が、未来の多摩市に向けたまちづくりを提案！ ～多摩市子どもみらい会議～

1月30日に多摩永山中学校で「2050年の多摩市のために私たちにできること～SDGsの達成に向けて何をすべきか～」をテーマに開催しました。参加したのは、3つの中学校区(和田・多摩永山・落合中学校、多摩第二・永山・瓜生・西落合・東落合小学校)の33人の児童・生徒。子どもたちが地域社会の一員として意見を表明し、まちづくりに参画するため、ESDの取り組みから学んだことを基に、市職員と共に今からできることを考え、提案とメッセージを発信しました。



●子どもたちからのメッセージ

今を大切に 全員が自分らしく生きられる環境を作ろう

児童・生徒からは、具体的なまちづくりへの提案も発表されました。それを受けて市は今後、市政への反映を含めて検討を行い、今年中に結果を子どもたちへ回答します。取りまとめた回答は回答集にまとめ、公式ホームページなどで公開予定です。

☎1019596 子どものみらい会議について=子ども・若者政策課 ☎(338)6958・☎(372)7988、各校のESDの取り組みについて=教育指導課 ☎(338)6913・☎(337)7620



Vol.8
子ども・若者の主張

令和7年度 作品

政治家さん 何で寝てるの 国会中
(ケネディたまお・11歳)

皆さんは、今の子どもや若者はどんなことに疑問を感じていると思いますか？
このコーナーでは、小学生～大学生世代の皆さんに投稿いただいた川柳の一部をご紹介します。
テーマは「ここが変だよ今の社会！」です。
子どもや若者の考えや思いを社会で受け止め、尊重することが重要です。

川柳に込められた子ども・若者の思いや背景
小学生ながら最近のニュースで政治家さんが寝ているのを見て、すごく驚いたので川柳にしてみました。国会中に寝るのは僕たち小学生が、授業中に寝るのと同じことだと思いました。

☎1017017 子どもの若者政策課 ☎(338)6958

その他の川柳はこちら▼

困った時はお互い様!子育て家庭を応援する仲間を募集中



こども家庭センターでは、さまざまな活動を通じて、子育て中のご家庭をサポートしています。そんな活動を支えてくれているのが、地域の皆さんです。子育てがひと段落してサポート側になる方はもちろん、自分が子育てしながら他のご家庭のサポートをしている方までさまざまです。「自分のできる範囲で」「孫と関わるように」など、自分のペースで活動してみませんか？

ファミリー・サポート・センター ☎1003499

「子育てのお手伝いをしてほしい方(利用会員)」と、「子育てのお手伝いをしたい方(提供会員)」が会員になって、子育て家庭を地域で支え合う会員組織です。



提供会員のNさん
お子さんの日々の成長を感じるのが楽しいのはもちろん、学童や保育園の先生など、地域のコミュニケーションの輪も広がりました。

多摩市ファミリー・サポート・センター会員募集・説明会開催

☎4月11日(土)午後1時30分～3時 ☎こども家庭センター「たまっこ」活動室 ☎10人(申し込み先着順) ☎保育3人(1歳6カ月児以上。申し込み先着順) ☎1012750 ☎3月24日(火)から、電話で、多摩市ファミリー・サポート・センター ☎(357)5105へ

子どもショートステイ ☎1003569

保護者が入院などで子どもの養育ができないときに、最大6泊7日で2歳～中学生の子どもをお泊りで預かりする事業です。



市内子どもを預かっている養育協力家庭のOさん
子どもが来ると家族みんなが癒されます。預かった子が家族の一員になったようで、楽しい時間を過ごせます。

この他、こども家庭センター「たまっこ」やこどもひろばOLIVEのスタッフも募集しています。詳細は、各施設に電話でお問い合わせください。



▲こども家庭センター「たまっこ」



▲こどもひろばOLIVE

☎ファミリー・サポート・センター ☎(357)5105、子どもショートステイ ☎(355)3833、こども家庭センター「たまっこ」子育てひろば・一時保育事務室 ☎(375)0104、こどもひろばOLIVE ☎(400)7715